

機器利用技術講習会のご案内

【緩衝材用衝撃試験機】

～緩衝材やプロテクターなどの衝撃吸収性能を把握することができます～

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて、中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理をお手伝いさせて頂いております。これら試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：平成24年11月22日（木） ①9：45～ ②13：15～
各コース（①～②）の講習時間は約1時間です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所(和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518)
当日は、講習開始時刻前に、当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前まで、ご参集ください。担当者が講習会場にご案内いたします。

◆定 員：各コース（①～②）とも、3名まで。

※ 受講票は発行いたしません。定員を超えたときは、お断りする方のみ、ご連絡いたします。

※ 受講にはTRIカードが必要となります。まだお持ちでない方は当日お申し込み頂くことができますので、担当者までお申し出ください(無料)。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) をお願い致します。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせ致します。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：緩衝材用衝撃試験機

緩衝材用衝撃試験機は、包装用緩衝材の緩衝特性を把握する装置です。本試験機では、任意の高さから緩衝材に向けて重錘を自由落下させることで緩衝材と重錘を衝突させ、重錘に発生する加速度を測定します。また、速度計と変位計が設置されているため、重錘の衝突速度や反発速度、緩衝材の最大変形量も測定することができます。測定データから緩衝材の緩衝特性を調べることで、包装内容品に伝わる加速度が最も低くなるように緩衝材の最適な形状（厚み、面積）を決めることができ、最小限の緩衝材で安全な輸送を実現することができます。また、包装用緩衝材だけでなく、スポーツ用品、介護・福祉用品、ベビー用品などのプロテクターによる緩衝効果も調べることができます。

本講習会では、緩衝材用衝撃試験機の原理や緩衝特性の求め方について説明した後、試験機の操作方法について実習を行い、緩衝材の評価方法について理解を深めて頂きます。なお、本講習会の後に開催される「非線形動解析システム」では、本試験機で測定したデータについてシミュレーションに関する実習を行いますので、ご興味のある方はあわせて受講下さいますようお願いいたします。



◆講習担当：製品信頼性科 研究員 細山 亮

